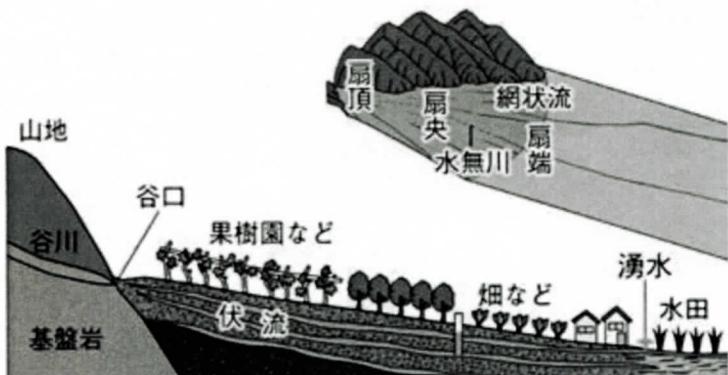


MEMO

扇状地の土地利用

【集落は、生活のために必要な物資と安全性とを確保できる場所に形成される。】



・[扇頂]=[①谷口集落]の形成。(教p.181)

【課題1】なぜ集落が成立するのか?

谷口は山地と平野の境界であり、両地域からの物資が集積し、活発に取引が行われてきたから。

・[扇央]=畑・果樹園に利用。

【課題2】なぜ集落が立地しないのか?

河川は伏流水(地面を流れずに地下を流れる)するため、水を得るのに難いため。

【課題3】なぜ水田にならないのか?

粒の大きな石礫が厚く堆積しており、水が地下に浸透しやすいため。

○近年は宅地化も進むが、戦前は桑畠や未利用地が多くた。例外的に水田がみられることもある(例:富山県砺波(となみ)平野)。・水路や圃場(ほじょう)の整備など人の手により自然環境を克服

○地形としては、[②天井川]が見られるところもある。

・[扇端]=集落や水田はここに成立する。

【課題4】集落や水田が立地する理由は?

扇状地と平野との境界にあたる扇端で、これまで伏流水してきた地下水が湧き出るため。

氾濫原の土地利用

・[自然堤防]=集落、畑として利用される。

【課題5】なぜ平野でありながら水田に利用されないのか?

度重なる河川の氾濫によって石礫が堆積しているため、透水性が高いため、微高地のため水田には適していない。

・[後背湿地]=主に[③水田]に利用されてきた。地盤は軟弱であるが、近年都市近郊では、宅地開発や公共施設の建設がみられる。

谷口集落から発達した都市の例

(関東地方)(教p.181)



- 山からは薪・木炭・繭(まゆ)等、平野からは米・塩・魚等が運ばれた。



- 天井川=堤防により河道の固定化をはかると、砂礫の供給がさかんな河道では堤防内(堤外地)での堆積が進行して河床(かしうう)が高くなり、ふたたび氾濫の危険が増す。これを防ぐために堤防を高くすると、さらに河床が高くなる。こうした繰り返しにより、河床面が周辺平野面より高くなつた河川をいう。旧草津川など。

- 坂戸西高校は公共施設の典型。逆に川越高校や松山高校は高台(台地)上に立地する。なぜだろうか?

* このページは、オンライン「生」授業で学習したことや、自分自身で学習した内容など、自由に利用してください。(このページの学習内容を評価対象とします。)

○生活に便利 → 水が豊富なところ
○安全だ → 洪水がない
レインボーブルブル → 集落の形成

まず、「集落」とは…? → 人間が集まつて生活している所。都市・村落。また、特に農村・山村・漁村などの村落。

〈扇状地の土地利用をするにあたり、起ニヤする災害を知つておこう!〉

○洪水

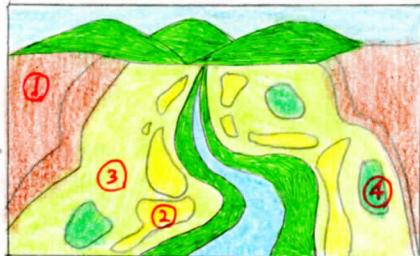
① 台地・丘陵

比高が数m以上の場合は安全。比高が2~3m以下の場合は大洪水で浸水する場合も。

② 自然堤防

川の両側に洪水で運ばれた土砂が堆積してできた丘のような地形の大洪水では浸水する場合も。

「土地を成り立ちで分類した図」のイメージ



まとめると…

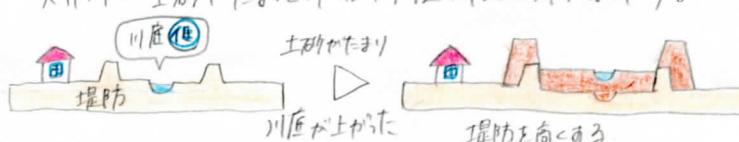
○日本の平野は洪水災害リスクが高い場所が多い。

○土地を成り立ちで分類した図を見るとその土地の洪水危険性がわかる。

○水の流れは地形によって決まるため、身の回りの地形や土地の高低を普段からよく確認しておく。

○天井川について

天井川…土砂がたまつて川の底が周辺の平地より高くなつた川。



→ Q 天井川はもはい位置にある電車や住宅は安全なの?

A. 普段は安全だが、川底が周囲の土地よりも高いため、洪水で決壊するとものすごい勢いで川の水があちこち危険だ。

○内水氾濫…堤防で守られてる市街地側を境内地といい、そこで発生する浸水のこと。

Q 川があふれかけた時は浸水の心配はない?

堤

A. いいえ。水路やマニホールドや排水沟があふれるとともあれば、近くに川がおかしくといって安全ではない。台風19号で堤防が決壊し、堤内地に水が入り込んだことがあります。

→ 都幾川・越辺川は堤防に決壊してしまった。

かづけ崩れ…斜面上の土砂や岩塊が安全性を失つて崩落する現象。

土石流…土砂が水と混合して河川・溪流などを流下する現象のこと。

やすべり…山の斜面にある土や岩がとがってかたまりやすべり落ちる現象。大雨や地震によつて発生する。

○土砂災害

土砂災害には、かづけ崩れ、土石流、やすべりの3種類がある。

* 扇状地谷口は土石流に注意が必要

→ 山で降つた雨が谷に集まり、土砂を押し流しきりながらせきあがり。

→ 土砂災害の危険性は地形と大きく関係している。

(まとめ)

○地形と災害はとても関係がある。

○地形からどの土地で今後どのような災害が発生するか予想することができる。

○地形を知り、災害から身を守る方法を身につけることが大切である。

(おさらいクイズ)

Q 1. 洪水の時、水の流れ方向は以下のうちどれが正しい?

A. 地形に関係ない B. 土地の低い方に流れる C. 土地の高い方に流れる

Q 2. 内水について、標高は関係なく、まわりよりも…

(A. 高い土地、B. 低い土地)は浸水に注意が必要である。

Q 3. 土砂災害の種類を3つあげなさい。

A. Q1 → B, Q2 → B, Q3 → かづけ崩れ・土石流・やすべり